

佐中だより



『人間を大事に ～自他ともに大切にすることができる～』

2021. 7. 7 (水) No. 12 文責：宮川

避難道の自主的整備について



7月3日(土)佐賀中学校裏の避難道において、錦一郎くんを中心に整備が行われました。防災委員の部長である錦一郎君が、先週避難道整備を呼びかけると、そのことに賛同した生徒や、先生方が自主的に集まり、避難道の整備を行ってくれました。生徒自身が呼びかけ、避難道を整備する姿勢を聞き、本当にすばらしいことだと思いました。参加してくれた生徒や先生方、おつかれさまでした。

情報モラル教室で考えたこと



7月5日(月)2校時1、2年生、3校時3年生に防災モラル教室を行いました。講師は宿毛市育成センターより井上さんに来ていただきました。講演では、インターネットの利用で気をつけることなどを話してもらいました。その中では、高知県で発生した事例として、コンビニエンスストアでの悪ふざけにより、お店が閉店し、莫大な損害賠償となることを話していただきました。

そして、ネットトラブルに遭った場合、相談はまず保護者に相談したらいいことや、SNSでの犯罪被害が中学生から急増していることなどを、教えていただきました。

最後の感想では、佐賀中の生徒が一生懸命話を聞いている姿に感心しましたと言ってもらいました。

第1回中山間公開授業

7月6日(火)佐賀小・中学校で第1回中山間公開授業が実施されました。公開授業については、小学校は6年生、中学校は1年生の総合的な学習の授業でした。

中学校1年生では、「佐賀に住む人たちの意識を一つに」として、佐賀地区の課題について情報を整理しました。その課題については、地区の人たちをお願いしてアンケート調査を行い、重要性などの順位を協議しました。調査したことをまとめ発表するなど、今後も地域の人たちとともに課題について考えていきたいと思います。



紙とあそぼう作品展「高知県知事賞受賞！」

第35回紙とあそぼう作品展に、美術部が作品名「我が町の特産品」を提出していました。

作品については、6月30日に審査が行われ、審査の結果「高知県知事賞」という素晴らしい賞をいただくことができました。美術部のメンバーは試行錯誤をしながら、期末試験中も時間を見つけ、最後の仕上げまで汗を流しながら、完成させることができました。



そのがんばりが認められ、標記のような県知事賞という素晴らしい賞をもらうことができたのも、最後まであきらめず、頑張る力で作品に取り組むことができたからだと思っています。今後もいろいろな作品に取り組んでいくことと思いますが、みんなで協力していい作品を仕上げてください。

～週番の先生のお話～

朝の集会では、週番の先生が自分の思いや考えについて話をしてくれます。そこでは、それぞれの先生方が、何を話したら生徒のためになるだろうと悩みながら、発表してくれています。そして、今週は川淵先生から、「はさみのほとんどは右利き用に作られていて、左利きの私には使いづらいです。そのため、両利き用のはさみがあると、本当に助かります。」「みなさんも自分と立場が違う人で、困っている人がいることについて、考えてみてください。」と話してくれました。7月6日からは「差別をなくする運動」強調旬間です。いろいろな立場から、人権について考えてみたいですね。

科学の甲子園 幡多地区予選について

7月4日(日)四万十市で科学の甲子園 幡多地区予選に佐賀中学校から中学1年生1チーム、2年生1チームが出場しました。予選ではペーパーテストをチームで解き、出来具合により、順位が決まるというものでした。問題は理数に関するもので、授業で既習した知識などを使いながら、思考力・判断力・表現力を問われる総合的な問題ばかりでした。

出場した生徒たちは頭を抱えながら、みんなで協力をして問題に当たっていました。この予選結果は、後日メールで学校に知らされるそうです。

次は県大会となりますので、ぜひ出場してもらいたいですね。出場した皆さん、本当にお疲れさまでした。

